

長久手市まち・ひと・しごと 創生総合戦略策定に対する提言

長久手グローバルネット

代表 佐野尚人

山田けんたろう

なかじま和代

長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に当たり以下の通り政策提言いたします。

長久手市が掲げる4つのキーワード

「子育て支援」「地域連携」「福祉・健康」「観光交流」
に基づき、5年間で達成すべき施策を提案いたします。

An aerial photograph of Nagakute City, Japan, showing a dense urban area with various buildings and green spaces. Overlaid on the image are four colored ovals, each containing one of the city's four keywords. The ovals are: a green one for 'Childcare Support' (top left), a purple one for 'Regional Cooperation' (top right), an orange one for 'Tourism Exchange' (bottom left), and a blue one for 'Welfare and Health' (bottom right).

子育て支援

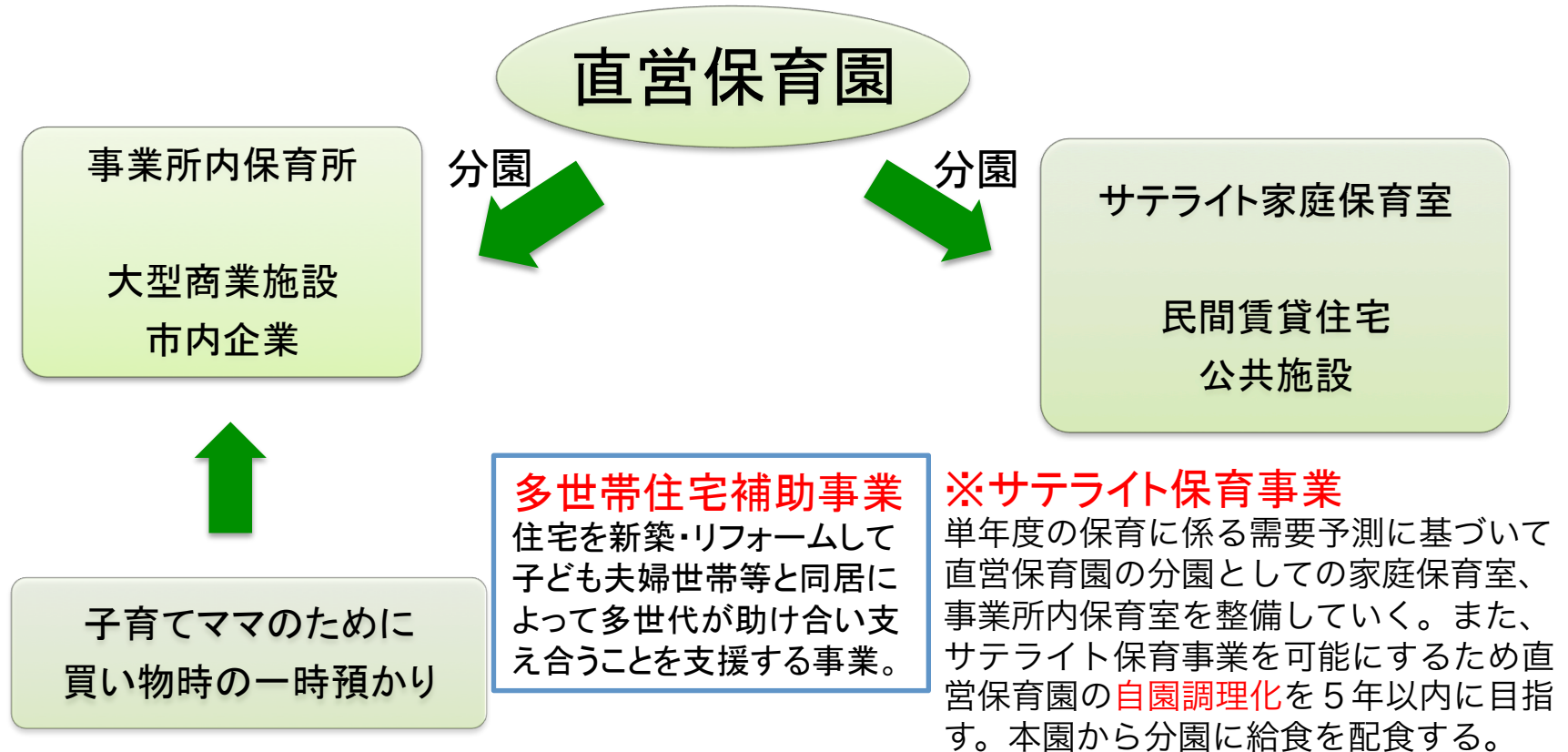
地域連携

観光交流

福祉・健康

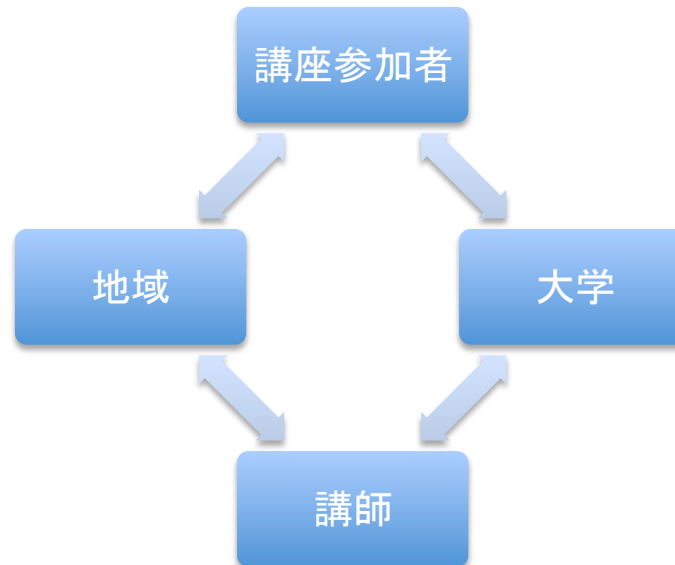
子育て支援

合計特殊出生率を3年後に2.0に、5年後に2.07に目標を設定してこれを実現するための支援を実施していく。長久手市で子どもを生んで育ててもらい、この目標を実現するには大胆な施策が必要であり、「**保育料ゼロ**」「**待機児童実質ゼロ**」を掲げる。特に「待機児童実質ゼロ」を実現するには、保育に係る需要予測を単年度ごとに精査して、スピーディな対応ができる体制を整える。そのために「サテライト保育事業」を提案するものです。



地域連携

リタイヤ世代の地域での活躍の場を提供し、子育て世代とも連携しながら新たなコミュニティを形成する。生涯学習講座の講座を増やし参加を促す。その参加者の中から特技や興味のある分野をリサーチして需要と供給を生み出すサイクルをつくる。



長久手で学ぶ大学生に希望する学生に対して**全ての学生にインターンシップの場を提供する**。保育を学ぶ学生には保育園、幼稚園での実習を受け入れ、教育課程を学ぶ学生には小中学校での実習を、理系の学生には学校での実験サポーター、体育を学ぶ学生には部活サポーターなど美術、技術、英語などあらゆる分野でのインターンシップを受け入れることで長久手での就職を促す。

福祉・健康

福祉・介護の担い手としてのシルバー世代の参加を促す。介護を受ける前の世代に介護の現場に参加してもらうことで、介護を受けないための意識付けをしていく。

※シルバー人材センターの経営改善

～専門職と一般職の分割～民間を圧迫しないように住み分ける

- ・専門職(造園、システム管理)→市内業者への臨時雇用
- ・一般職→既存のシルバー人材センターの業務を継続

※学校ヘルパー制度

～リタイヤ世代の雇用としての学校連携

- ・理科実験・習字・英語・美術・技術・特別支援補助等の学校授業のサポートを担う←費用弁償

観光交流

キーワードを「ふらっとショッピング交流」と位置づけ大型商業施設と連携しながら広域での交流を促進する。
近隣コミュニティ交通との広域での連携を図り、市内のみならず広域での交流人口を増やす。
大型商業施設への導線を近隣の広域からの来客を想定し、公共交通ネットワークを形成して、交通渋滞の緩和を図り、観光交流を促進する。

※配送料の一部補助

～IKEAには公共交通での来客に対しては配送料の一部を補助する制度を設ける。

※リニモと地下鉄の連携強化

～地下鉄の終電に合わせたリニモの終電の増便

名古屋市への通学、通勤する利用者の利便性を向上させることで、長久手に住むことの付加価値を高めることとなる。

